



ゆづりは

堺市立図書館だより

第16巻 第2号 (通巻59号)

発行日 令和3年9月10日

編集・発行 堺市立中央図書館
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072(244)3811

FAX 072(244)3321

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>



電子書籍を ご寄贈いただきました



堺ライオンズクラブ様から、昨年に引き続き新しい電子書籍コンテンツをご寄贈いただきました。小中学生が楽しめる知識の本や読み物、英語学習の本などです。

電子図書館は、年中無休24時間ご利用可能です。インターネットにつながるパソコン・タブレット・スマートフォンから無料でお使いいただけます(回線使用料は別)。

<https://www.d-library.jp/SKI01/g0101/top/>



中央図書館は今年で50年

中央図書館は今年(2021年)7月で建築50年を迎えました。

堺の市立図書館は大正5年(1916)、大町東一丁(宿院小公園)に建ったのが最初です。この図書館は室戸台風により大破。昭和11年(1936)に宿院町東三丁に再建されましたが堺大空襲により焼失。戦後は同地のバラック小屋に始まり、巡回文庫や公民館に図書を置いて活動を再開。再び宿院町東三丁に図書館が建ったのは昭和24年(1949)でした。

ようやく再建された図書館でしたが、様々なサービスを展開する中で「もっと広い図書館」が望まれるようになりました。新館の建設はなかなか実現の域には達しませんでした。大阪市立大学の栗原研究室の設計により、大阪府立大学農学部試験場跡地であった現在地で建設が始まりました。

完成した図書館は、周辺の百舌鳥古墳群にあわせて古墳にある家形埴輪を模したユニークな建築デザインで、雑誌「建築文化」(1971年12月号)にも取り上げられるなど当時話題になりました。

当時の建設中の様子は図書館ホームページの図書館コラム「中央図書館が建つまで」にてご覧いただけます。

<https://www.lib-sakai.jp/column/processOfBuilding/buildingChuuou1971.htm>



目次

電子書籍をご寄贈いただきました	…1
中央図書館は今年で50年	…1
この本で解決! 「子どもに片づけを おしえる本はありますか?」	…2
新しいコーナーができました しらべるコーナー(北図書館) ティーンズコーナー(中央図書館)	…2
シリーズ堺の伝説 『行基の塩風呂』	…3
地域資料デジタルアーカイブより 『大濱潮湯及び家族湯』	…3
司書のイチ押し 『ファイリングシステム 五訂版』	…4
堺市立図書館電話番号一覧	…4

ゆづりは

とは...

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりあとに
また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を超えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。



子どもに片づけを おしえる本はありますか？



図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

やってもやってもすぐに散らかってしまう。どうして片づけてうまくいかないの？そんなお子さんをお持ちの方から相談があった際にご案内した本を紹介します。

★片づけのきっかけに★

『それならいいえありますよ』

澤野秋文／作 講談社 2013年

ちらかしほうだいのぎんたに仕掛けた、猫のちやまるの作戦にくすつと笑える1冊です。



★どうやって片づける？★

『おもちゃのかたづけできるかな』

深見春夫／さく・え 岩崎書店 2017年

チャカポコホイと魔法をかけられたひろき君がおもちゃの立場になって片づけの仕方学びます。



★自分に合った片づけて？★

『小学生のための楽しいかたづけ』

日本ライフオーガナイザー協会／著

葉月出版 2015年

大切なモノの基準も生活習慣も人それぞれ。自分に合った片づけの仕方を見つけるヒントがたくさん載っています。



★モノを大切に★

『つくもがみ』

京極夏彦／作 岩崎書店 2013年

日本には昔から長年大切に使ったものには「つくもがみ」が宿るといふ言い伝えがあります。

成長するにつれて増えてゆくモノとの思い出。片づけがにがて、モノを捨てられないのは「モノを大切に」優しい気持ちの表れかもしれませんよ。

(東図書館レファレンス担当)

新しいコーナーができました

しらべるコーナー

北図書館

「これは何？」「なぜ？どうして？」子どもたちの疑問や好奇心は尽きません。自分の力で答えに近づければ、自信につながり、学習意欲も高まります。

北図書館では子どもたちの調べものに役立つ「しらべるコーナー」を新たに設置しました。

調べものの定番である事典や図鑑などは「しらべる」の棚に、調べ方が書いてある本は「しらべかた」の棚に並べています。

子どもたちの「発見！」や「分かった！」の喜びの瞬間を分かち合ってください。



(北図書館担当)

ティーンズコーナー

中央図書館

中央図書館一般閲覧室に「ティーンズコーナー」を設置しました♪

中高生をはじめとする、10代の方に向けた本を集めたコーナーです。

勉強・部活に役立つ本、進路や友人関係に悩んだときに読んでほしい本、通学時間に息抜きに読める本まで、さまざまな本をそろえてお待ちしています。

中央図書館にご来館の際はぜひご利用ください！



(中央図書館担当)

シリーズ

堺の伝説

ぎょうき しおぶろ 行基の塩風呂

でじまかいがんどおり みなとしおゆ
出島海岸通にある銭湯「湊潮湯」には海水を沸かした風呂があります。海水風呂（いわゆる塩風呂）はよく温まり、皮膚や神経痛、冷え性などによい他、肌がつるつるになる効果があるとのこと。その始まりとして、堺出身の僧である行基のこんな伝説があります。

堺に関してまとめられたほぼ唯一の地誌である『堺鑑』さかいかがみを読むと、「鹽風呂」しおぶろの項目に以下のような内容が記載されています。

“行基が海辺に井戸を掘り、その中に石像の薬師佛を安置した。すると、海辺ながらこの薬師如来の胸中から清水が湧き出て、この水を風呂に入れて入浴すると、すべての病がことごとく除かれた。文亀二（1502）みずのえいぬ年壬戌正月三日、屋敷主の八萬貫はちまんがん屋妙徳は靈夢で、寺物にしなければその水は次第に衰えてしまうという多門天のお告げを受け旭蓮社へ寄進した。（中略）その風呂の所在地は大町おおちようの西六間筋にしろくけんすじにあり、町の名前は塩風呂小路しおぶろしょうじと言ひ伝えられている。”

この伝説を読むと、薬師如来から湧き出た水は清水と書かれているので、塩風呂ではなく淡水風呂伝説になりそうですが、『堺市史』第1巻に「一説（和泉志）には此潮井は泉鹹*1を以て名を得たもので、湯浴すれば疾が愈>ゆ*2とあるから、鹽味があるのであつて、潮井といひ、鹽風呂といふに適應する。」との説が記載されています。

*1 鹹：しおからいという意味を表す漢字

*2 愈>ゆ：愈（いよいよ = 前よりも）癒（い）える

てらじ
現在も寺地町東4丁にある旭蓮社には「塩風呂薬師佛石像當寺」と彫られた石碑があり、阪堺



旭蓮社の門前にある石碑「塩風呂薬師佛石像當寺」



阪堺線宿院駅近くの石碑「大町は中世、堺の分限者が住んでいた町で、古くは塩風呂もありました。」と彫られている。

線宿院駅近くの石碑にも「古くは塩風呂もありました。」と記されています。また、『文久改正堺大絵図』ぶんきゅうせいせい堺おおえずを確認してみると、「塩ブロ」の文字が確認できます。

この塩風呂の伝説について、『堺市史』では“もとより確証はない”と記述しています。行基は民衆に直接仏教の教えを説いた他、お米を収穫するための池や溝を作り、橋をかけ、布施屋（宿泊施設）を作るなどの社会事業にもつとめました。民衆から慕われていた行基だからこそ、このような伝説が生まれたのかもしれませんが。



『文久改正堺大絵図』の一部
中央左側に「塩ブロ」の文字が確認できる。

【参考文献】

『堺鑑』衣笠一閑／著	1684年	
『堺市史』第1巻、堺市役所／編纂	堺市役所	1929年
『むかしの堺』別所やそじ／共著	はとぶえ会	1976年
『覆刻日本古典全集』五畿内志下巻	現代思潮社	1978年
『21世紀へのメッセンジャー』		
産経新聞社大阪モニュメント委員会		1990年
『フォーラム堺学』第8集	堺都市政策研究所	2002年

(中央図書館地域資料担当)

地域資料デジタルアーカイブより 『大濱潮湯及び家族湯』



海水風呂（塩風呂）と言えば、かつての大浜には、左の絵葉書にあるような大きな潮湯場がありました。大正2年、当時の阪堺電気軌道株式会社が、大浜への観光客誘致のため、この大浜潮湯・家族湯を開設したのです。

絵葉書『大濱潮湯及び家族湯』や『文久改正堺大絵図』は堺市立図書館地域資料デジタルアーカイブからご確認ください。





ファイリングシステム 5訂版

三沢仁 / 著 日本経営協会 1987

この『ゆづりは』を読んでくださっている皆さんは図書館の本を利用されている方々かと思いますが、本ではなく文書はどうでしょうか？ 仕事、趣味、勉強……、用途は何でも構いませんが、文書を扱っていますか？扱っている方は皆さん感じているでしょうが、文書は本と違って管理するのが大変です。ペラペラだから縦置きしにくく、背表紙がないから並べても探しにくい。そこで役に立つのがファイリングシステム＝本書が解説する「文書を管理する仕組み」です。

ファイリングシステムがどういったものか、簡単にイメージしてもらうため、本書より定義を引用してみましょう。

「ファイリングシステムとは、組織体の維持発展のために必要な文書を、その組織体のものとして、必要に応じ即座に利用しうるように組織的に整理保管し、ついには廃棄するに至る一連の制度のことである」

小難しくて分かりづらいという方のために、ファイリングシステムの説明も引用してみましょう。

「①要らぬ文書は捨てる、②私物化させない、③すぐ出せるということが肝要である、④整理保管するだけでなく、⑤それを捨てるまでを管理すること、⑥全社的な制度になっていること」

これを体現した仕組みがファイリングシステムです。本書では、その実現のための方法を具体的に解説しています。ここで注目すべきはその方法に人間

の怠惰な一部分が考慮されている点です。「今まで文書が紛失した原因は、とじることを強制され、それが面倒だからといってよいでしょう」「そういうことを規定化して、皆が実行するとお思いですか。あなたはおやりになるかもしれないが、普通程度の無精者の守れる約束ではありますまい」等、文章の端々からそんな考えが読み取れます。どんなによくできた仕組みでも、面倒だからと使われなければ意味がありませんよね？これこそが、本書が初版からこの五訂版まで、37年もの間出版され続けてきた理由でしょう。

本書の初版は1950年のため、対象としている文書は紙のものが中心となっています。デジタルドキュメントが主流となった昨今ではもはや時代遅れと感じられるかも知れませんが、現行のコンピュータはファイルやフォルダ、階層構造をもってデータを管理する仕組みになっており、これは紙の文書管理の仕組みを仮想化したものに過ぎません。本書のファイリングシステムは、少々調整しなければならないでしょうが、デジタルドキュメントの管理にも有効でしょう。紙派も電子派も、皆さんぜひご一読ください。

(R・I)



堺市立図書館電話番号一覧

中央図書館	244-3811	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
くすのき号	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
堺市駅前分館	222-0140	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター舳松人権歴史館	
中図書館	270-8140	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
東百舌鳥分館	234-9600	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
		美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011
音声応答サービス	280-0415	ホームページURL	https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/		